

【将来像・教育目標】・・・「持続可能な魅力ある学園！～学園全体の財務内容の良化を図るとともに、教職員の働き方改革と学園組織の体質強化を図る～」

| 重点目標(KPI) | 具体的目標(数値化) | ロードマップ(戦略: 何を・いつまでに・どのように) | | | | | アクションプラン | |
|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 2018年度 | 検証(実績) | 2019年度 | 検証(実績) | 2020年度 | 検証(実績) | 考え方・内容、反省・改善策 |
| I. 財務体質の強化 ・経費削減への取組 (管理経費額: 前年度比△3.0%) ・資金収支、損益の確保 ・事業のメリハリ運用 | ① 教育活動資金収支差額の黒字化 (活動区分資金収支計算書) 同比率…0.69%(2017年度) | ・同比率…4.3% | ○ 5.09% ↑ +85,812千円 | ・同比率…6.0% | △ 3.44% +54,237千円 | ・同比率…9.0% | ○ 8.74% ↑ +158,890千円 | ・本業(教育研究)の資金収支の良化傾向 ・黒字化の持続性対策 (注)3か年のうち2か年赤字(改善計画書) |
| | ② 経常収支差額の黒字化 (事業活動収支計算書) *2017年(▲112百万円)、比率▲6.77% | ・同比率…▲4.8% ・保育園開設準備経費増加 | ○ 1.75% ↑ +30,265千円 ・改善方向 | ・同比率…4.0% | × ▲5.25% ↓ ▲84,551千円 ・保育園開設準備経費増加 | ・同比率…6.0% | ○ 1.67% ↑ +31,015千円 ・改善方向 | ・黒字化の不安定化 ・各部門の収入の安定化、支出削減が課題 (注)3年連続赤字(改善計画書) |
| | ③ 積立率 …100%以上 (運用資産÷要積立額/減価償却累計額+退職給与引当金+2・3号基本金) 同比率…72.4%(2017年度) | ・同比率…80% | △ 61.8% ↓ ・運用資産の取崩増加 高校新校舎事業関係経費増加 | ・同比率…82% | △ 50.4% ↓ ・運用資産の取崩増加 | ・同比率…84% | △ 58.0% ↑ ・運用資産の取崩要因 | ・低下傾向 ・運用資産(特定資産等)の充実 ・退職金、債務返済金、奨学金の原資の安定確保 (注)50%以下 |
| | ④ 管理経費比率 (管理経費÷経常収入) 同比率…6.1%(2017年度) | ・同比率…5.5% ・学園創立100周年記念事業 | △ 8.0% ↑ ・100周年事業経費増加 | ・同比率…5.2% | △ 8.3% ↑ ・保育園開設準備経費増加 | ・同比率…4.8% | △ 7.3% ↓ ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う事業の抑制・延期等 | ・10%程度までOK ・年度毎のメリハリ運用 |
| II. 持続可能性の強化 ・入学定員・定員充足率向上への取組 ・教育研究内容の良化 ・ブランドカUP | ① 学園全体の定員確保 (定員充足率:全体88%以上) | ・各部門のプロセス評価 ・同比率…85.5% | △ ・86.9% ↓ 短84.5%、高85.2%、幼91.1% | ・各部門のプロセス評価 ・同比率…84.5% | △ ・81.9% ↓ 短80.7%、高83.3%、幼81.7% | ・各部門のプロセス評価 ・同比率…88.0% | △ 82.1% ↓ 短82.7%、高84.4%、幼79.4% | ・広報活動の評価 ・学園全体の最重要課題として対策検討 ・定員の見直し ・魅力ある学科、コースの設置に向けた対策 |
| | ② 経常補助金比率 …25.0%以上 (教育活動収支補助金÷経常収入) ※事業活動収支(24.5%/2017年) | ・同比率…25.0% | △ ・24.2% 短:競争的補助金獲得減少 | ・同比率…26.0% | △ ・25.6% 短:競争的補助金獲得増加 | ・同比率…27.0% | ○ ・30.2% ↑ 短:競争的補助金獲得増加 | ・教育活動への補助金の割合増、獲得率UP ・特別補助金の獲得(短大) |
| | ③ 教育研究経費比率 …25%以上 (36.5%/2017年度) 事業活動収支(教研費÷経常収入) ※事業活動収入-特別収入で算出 | ・同比率…36.5% | △ ・25.1% ・施設設備関係の増加 | ・同比率…37.0% | △ ・26.8% ・施設設備関係の増加 | ・同比率…37.0% | △ ・25.1% ・オンライン授業設備 | ・教育(本業)への力量⇒教育の質向上対策 ・計画的かつ建設的な教育研究への支出 ・遠隔授業への施設整備(新型コロナ対策) |
| | ④ 予算編成・補正予算の厳格化 (中計に沿った予算の整合性) | ・予算、補正予算と決算との整合性の検証 | △ ・補正予算の見直し (年1回→年2回へ検討) ・予算額の乖離比較 | ・予算、補正予算の厳格化 | △ ・補正予算(12月1回) | ・予算、補正予算の厳格化 | △ ・補正予算の見直し (年1回→年2回へ検討) ・予算額の乖離比較 | ・予算、補正予算計画の重要性 ・基本金組入前当年度収支差額を指標 ・PDCAの厳格化 |
| III. 働き方改革と組織体質強化 ・学園のブランドカ構築 ・ガバナンスの強化 ・人材の育成 | ① 理事会・評議員会の充実 (外部目線強化/外部役員) (学園改革への提案力) | ・役員出席率…90%以上 ・改革への提案…1件以上 | △ ・理事出席率良好 90%以上 ・外部理事からの意見増加 ・改革提案…0件 | ・役員出席率…90%以上 ・改革への提案…1件以上 | △ ・理事出席率良好 90%以上 ・外部理事からの意見増加 ・改革提案…0件 | ・役員出席率…90%以上 ・改革への提案…1件以上 | ○ ・理事出席率良好 90%以上 ・外部理事からの意見増加 ・改革提案…1件 | ・新型コロナウイルス感染症対策により書面参加も認めた ・活発かつ建設的な議論(外部理事の影響大) ・学園改革:年1件以上の提案を起案・指摘 ※提案内容:会議資料のペーパーレス化検討(iPad) |
| | ② 働き方改革 (タイムマネジメント:時間管理) (内部監査室の設置) | ・人材育成 ・時間外削減:前年度▲1.0% ・業務の洗い出し | △ ・休暇取得(計画的休暇) ・時間外(実態把握) ・内部監査の調査実施 | ・複数業務の習得 ・タイムカード導入(実態調査) ・業務の見直し(内部監査/年1回) | △ ・休暇取得(計画的休暇) ・時間外(実態把握) ・内部監査の実施 | ・勤務実態の把握調査 ・業務の見直し(内部監査/年1回) | ○ ・休暇取得(計画的休暇)の通知 ・時間外(実態把握) ・内部監査の実施 | ・適正人員の把握(所属長ヒアリング実施) ・教職員の勤務実態の把握(△) ・時間外の減少、年休取得率UPへの指導徹底 ・内部監査室:事務の効率化、業務の兼務化指導 |
| | ③ 個人評価制度の充実 (能力給の導入) | ・2019.4月賞与反映導入準備 ・目標設定、個別面談(職員) | △ ・職員への周知徹底 ・目標設定の実施 | ・賞与に貢献度給を導入 ・個別面談の納得度(職員) | × ・職員への周知徹底 ・目標設定の実施 | ・教員への導入検討 | × ・職員への周知徹底 ・目標設定の実施 | ・形骸化からの脱却、対策を検討 ・個人評価制度の充実(年間計画)…形骸化 ・個別面談の充実(△) ・賞与等への反映(×) |
| | ④ 組織体制強化 (危機管理・情報公開・人材育成 セキュリティの対応づくり) | ・全規程の見直し ・必須規程の検証 | △ ・情報公開の見直し実施 (HP中心) ・内部監査室:2019.4月設置 | ・内部監査室の設置 ・情報公開規程の策定 ・各自、各部門の業務見直し | △ ・情報公開の見直し実施 (HP中心) ・内部監査室:2019.4月設置 | ・内部監査の稼働 ・体系化、HPのリニューアル ・内部監査の実施(2回) | △ ・情報公開の見直し実施 ・HP見直し検討 ・内部監査室:4部門監査済み | ・ガバナンス強化のため全規程の見直し検討 ・BCP対策、情報公開、内部統制 ・HP、スマホ、SNS等の広報活用 ・内部監査実施(年間計画・2回) |

※中長期経営計画「すみれ2030」の期間…2018年度～2030年度とし、第1弾・第2弾・第3弾に期間区分して進捗管理する。

※学園全体の重点目標(KPI)に基づき、各部門の中期目標、ロードマップ、アクションプランを設定。中期目標項目(4つに拘らない)の増減は各部門にて考慮すること。